

# ◆第3期奈良県がん対策推進計画の全体目標の進捗状況について

資料1

## 1 全体目標

■ 基準値と比較して改善していない    — 新型コロナウイルス感染症対応のBCPIにより中止したもの  
■ 基準値と比較して改善している  
■ 指標項目要検討

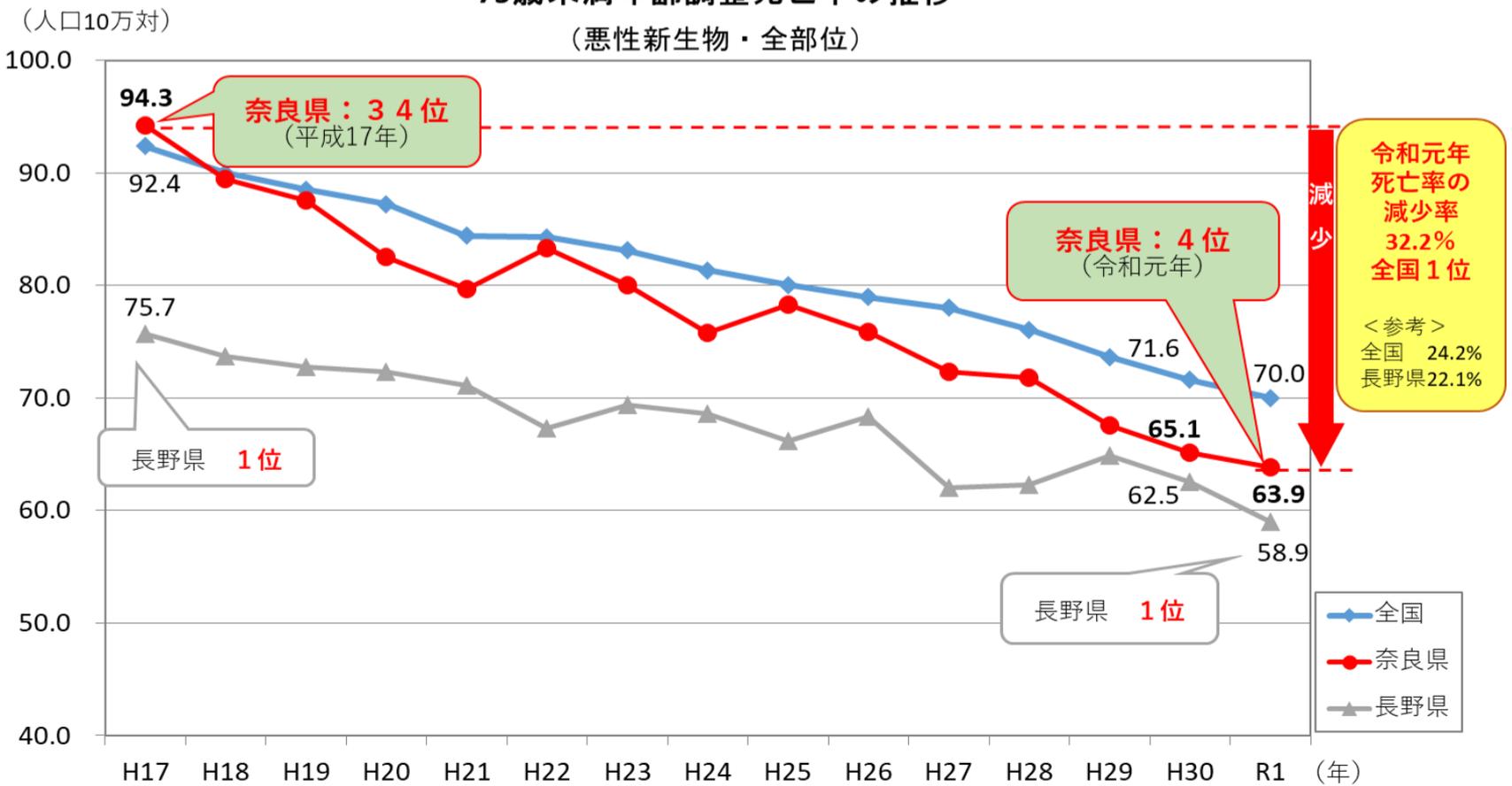
目標	指標	現状値 (基準値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標値	出典
がんにならない がんで若い人が亡くならない(がん予防、早期発見・早世防止)	がんの75歳未満年齢調整死亡率	72.3 (H27)	67.6 (H29)	65.1 (H30)	63.9 (R1)	52.8 (R9)	人口動態統計
すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み)があると回答のあった割合	17.4% (H29)	—	—	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査(奈良県)
	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み以外の症状)があると回答のあった割合	33.8% (H29)	—	—	—	減少	
	現在の心身の状況について気持ちがつらいと回答のあった割合	30.5% (H29)	—	—	—	減少	
	経済的なことや就労のことなど、生活上の心配があると回答のあった割合	27.5% (H29)	—	—	—	減少	
	これまで受けた治療に納得していると回答のあった割合	88.1% (H29)	—	—	—	増加	
	がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった割合	36.4% (H29)	—	—	—	増加	
すべての県民ががんを知り、がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる	現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うと回答のあった割合	29.1% (H29)	—	—	—	増加	県民アンケート(奈良県)
	この1年間に自ら健康づくりのためにしたこと ・がん検診を受ける	31.5% (H29)	35.5% (H30)	R1からアンケート項目削除	▲	増加	
	・たばこを吸わない	55.9% (H29)	60.5% (H30)	R1からアンケート項目削除	▲	増加	
	・塩分を取り過ぎない	48.4% (H29)	52.4% (H30)	R1からアンケート項目削除	▲	増加	

※各分野については資料2以降で掲載しています

### 奈良県のがん死亡率について

奈良県のがん死亡率は、平成17年は全国34位でしたが、平成30年に4位に改善し、令和元年も同順位を維持しています。  
 また、平成17年からの減少率を見ると、平成27年以降5年連続で全国1位となっています。

### 75歳未満年齢調整死亡率の推移



年齢調整死亡率とは、死亡数を人口で除した死亡率を比較する際に、各都道府県の住民の年齢構成に差があることから、年齢構成の異なる地域間で死亡状況が比較できるように年齢構成を調整した死亡率を「年齢調整死亡率」という。基準人口として、国内では通例、「昭和60年(1985年)モデル人口」(昭和60年人口をベースに作られた仮想人口モデル)を用いて人口10万対で表す。